

## 第12回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット共同発表文

日本国鳥取県知事 平井伸治、大韓民国江原道知事 金振統、中華人民共和国吉林省副省長 陳偉根、ロシア連邦沿海地方知事 グリキン・セルゲイ、モンゴル国中央県知事 ツェデブドルジ・エンフバトは、2007年10月31日に鳥取県境港市で開催された「第12回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、相互友好関係に基づき北東アジア地域の共同繁栄のために幅広く意見交換を行い、次の事項について合意した。

1. 本サミットが北東アジア地域の交流協力の増進及び共同発展に寄与していることを高く評価し、今後ともこの体制を維持するとともに、各地域がさらに密接に交流協力し、地域内の発展及び安定に貢献していく。

2. 環境問題は、サミット参加地域の持続的発展を考える上で極めて重要であるとともに、地球規模での対応が必要である。このため、参加各地域が連携して、地球環境問題の解決に率先して取り組む。また、共通の課題に対応するための協議組織を構成して情報交換等を行うこととし、各地域は積極的に参加する。

3. 「北東アジア地域大学教授協議会」の創設とその第1回会議が鳥取県において開催されたことを歓迎する。各地方政府と同教授協議会は、互いに協力しながらサミット及びその参加地域の共同発展のために努力する。

4. 各地域の産業関連情報を積極的に交換し合い、事業展開の可能性等を共同で検討するとともに、各地域の企業等の積極的な参加を促すなど、経済と貿易分野における実質的な交流協力を積極的に推進する。

5. 域内の経済産業面の共同発展及び交流の活発化のためにも米子ーソウル便などの既存路線の活性化、東草、ザルピノ、ウラジオストク、新潟、境港などフェリー航路の新たな開設など交通基盤の確保・充実に共同で取り組んでいく。また、将来的にヨーロッパ（EU）市場と北東アジア経済圏が連携したユーラシア統合経済圏が形成される場合は、ヨーロッパーロシアー中国ー朝鮮半島ー日本を結ぶ物流交通網構築などにおいて北東アジア地域が中心に立つことができるように共同で努力する。

6. 各地方政府が交流を深めていく上で地域の将来を担う優秀な人材の育成は重要な要素である。各地域間にはさまざまな問題もあるが、相互理解を深める上でも各地域が協力して人的交流（公務員の相互派遣を含む）を進めるよう努力していく。

7. 鳥取県の「三徳山」世界遺産登録や2009年「地域伝統芸能全国フェスティバル」、江原道の「2018年平昌冬季オリンピック」誘致、吉林省の2008年「第4回北東アジア投資貿易博覧会」開催、沿海地方の2008年第3回国際環境フォーラム「国境なき自然」や2012年APECウラジオストク開催など、各地域で様々な活動が展開されている。各地域がこのような活動に協力することが、国際的な評価を高めることにつながり、ひいては各地域の振興発展に寄与することを理解し、今後も積極的に相互支援していく。

8. 各地域は、文化芸術、スポーツ、教育など多様な分野において積極的に協力するとともに、青少年交流をはじめとする二地域間及び多地域間の様々な交流プログラムの強化に努める。また、民間の友好交流活動及び交流分野を拡大していくように共同で努力する。

9. 来年度の会議をロシア連邦沿海地方で開催する。

この共同発表文は、同一内容を日本語、韓国語、中国語、ロシア語、モンゴル語でそれぞれ作成し、各地域で1部ずつ保管することとする。

2007年10月31日

日本国鳥取県知事

平井 伸治

大韓民国江原道知事

朴 正 仁

中華人民共和国吉林省副省長

李 春 根

ロシア連邦沿海地方知事

А. С. Сидоров

モンゴル国中央県知事

А. С. Сидоров